

シリーズ
防災安全
No.2

もしもの時に慌てない 救急車の要請は 119番



八百津町内で年間何件の救急要請があるのかご存じでしょうか。

平成20年・21年共に、1年間に約350件もの救急出場がありました。八百津町の世帯数は、4,343世帯なので、12世帯に1世帯は救急出場したこと（割合）になります。

救急通報するときに慌てないように、119番通報内容についてご家庭で確認しておきましょう。

救急通報のしくみ



119番通報すると、美濃加茂市の可茂消防事務組合消防本部にある通信指令室に電話がつながります。ここで、火災か救急か、場所、内容など詳しく聞かれることに答えましょう。早く伝えないと救急車が遅くなると思われがちですが、通報が入った時点で電話番号からおおよその位置は把握できるため、電話の対応とは別に、既に救急車は発進する準備を行っています。発進した後、救急隊員に正確な内容が伝えられ、現場到着時には的確な処置ができる状態となっています。

救急隊員が到着したときに内容が正確に伝わらない場合も考えられますので慌てず対応することが大切になります。



実際の通報で把握しておくの良い事項

(紙に書いて電話の近くに貼っておきましょう)

傷病者の氏名	容態
自宅の住所地番、近くの目標物	原因
世帯主	現在の状況
既往症	呼びかけに対して反応があるか
普段服用している薬剤	普段通りの呼吸をしているか
かかりつけの病院	その他
ペースメーカーの有無	

協力者を得て余裕があれば、救急車の誘導もお願いします。

普通救急救命講習について

八百津町は山間地も多く、救急車の到着までに時間がかかります。このため、その場に居合わせた人が応急手当を速やかに行うことが重要で、その結果救命効果も向上し、治療の経過にも良い影響を与えます。緊急の事態に遭遇したときに適切な応急手当を実施するには、日頃から応急手当に関する知識と技術を身につけておく事が大切です。

正しい知識と、技術を習得するためにも「普通救命講習」を受講しましょう。



救急車の適正利用にもご協力をお願いします。

救急医療情報サービス ☎ 0574 25-3799

消防庁長官表彰を受章されました

八百津町消防団副団長の野黒の古井戸 勇さん(61)と竹井の佐藤悦男さん(56)が、多年にわたり消防の発展に努めた功績が認められ、消防庁長官表彰 永年勤続功労章を授与されました。



中央 / 左：古井戸さん 右：佐藤さん